



## 特集番組 第4弾

# “アルツハイマー病”と闘う ～進行をくい止める～

放送 9月8日（火）総合 22:00～22:49

放送90年のことし、NHKは、ミニ番組や関連番組を通じて多角的に認知症に対する理解を深めてもらおうというキャンペーンを展開しています。今回は、特集番組の第4弾をお届けします。

認知症の中で、日本人に最も多いアルツハイマー病。脳が萎縮し、記憶力、判断力、さらに意識そのものまで奪っていく病気です。いま、この病気の進行をくい止めている一人の患者が、専門の医師の注目を集めています。

NHKが4年にわたり継続取材してきた青森県に住む前田栄治さん（58歳）。50歳の時にアルツハイマー病と診断されて8年。通常であれば身の回りのことがほとんどできなくなる時期ですが、前田さんの症状はわずかしかな進行していません。その理由は、前田さんの生活にあると医師たちは考えています。社会と積極的に関わることや、生活習慣病の対策をしっかりと行うことが効果を上げているといいます。最新の研究でも、生活の仕方によっては認知機能の低下を抑えられることが次々とわかってきました。しかし、こうした対策を実際に取り入れるには家族や周囲のサポートが欠かせません。前田さんがなぜ進行を抑えられているのか？ 番組では、スタジオに前田さん夫妻と専門家を招き、アルツハイマー病の進行をくい止めるための方法や、どうやって認知症の人を周囲が支えるべきか探っていきます。アメリカの大学の最新の研究成果も紹介。

9月21日の「世界アルツハイマー・デー」を前に、改めて認知症について一緒に考えてみませんか？ すぐに役立つヒントが満載です。



認知症の進行をくい止めている前田栄治さん

【キャスター】 山本哲也アナウンサー（認知症カフェ「どーも」マスター）

【ゲスト】 萩本欽一さん（認知症に大きな関心がある） ほか

【スタジオ出演】 前田栄治さんご夫妻 東海林幹夫さん（主治医・弘前大学教授） ほか